

北薩の授業づくり3ポイント

「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した「単元・題材全体及び一単位時間」の授業づくりポイント

単元・題材全体の構想

単元・題材全体 及び一単位時間

- I 年間指導計画をもとに、単元の指導事項を確認
- II 該当する学習指導要領（解説）で具体的な内容や系統性を確認
（※本単元・題材で働かせる見方・考え方を明確にする）
- III 教材研究（教材、子供の実態）
- IV 単元の目標、評価規準を設定
- V 単元の「指導と評価の計画」を作成

1 目標の明確化

課題（問題）意識を高める「めあて」

- ☐ 子供が自ら問いをもつ場面の設定
- ☐ 学習の「めあて」の可視化（働かせる見方・考え方と関連付ける）
- ☐ 解決の見通しをもつ場面の設定

2 子供が選ぶ・決める学び

個別最適な学び

- ☐ 子供一人一人の特性、学習進度、到達度等に応じた指導方法、教材等の工夫（指導の個別化）
 - ☐ 子供一人一人の興味・関心、キャリア形成の方向性等に応じた学習活動、課題に取り組む機会の提供（学習の個性化）
 - ☐ 子供に委ねる場の設定（多様な選択肢による自己選択・自己決定）
- ※ 子供に委ねる視点【学びの羅針盤P.15 参照】

「道具・活動」、「学習形態・スタイル」、「学習時間・ペース」、
「解決方法・考え方」、「課題・めあて」の5つの視点

協働的な学び（安心感のある集団の中で）

- ☐ 自分の考えをもつ時間の確保
- ☐ 視点を明確にしたペアやグループでの話し合い
- ☐ 「なぜ」「どうして」を追究する学び合い

3 振り返りの充実

学びのまとめ・振り返り

- ☐ 子供による「まとめ」
- ☐ 学習内容、学習方法の振り返りによる「分かった・できた」の実感
 - 分かったこと、できるようになったこと、考えたこと
 - よかった学び方（～したら分かった、できた）
 - 友達の考えで「なるほど」と思ったこと
 - さらに知りたいこと、次にやってみたいこと

一体的充実

「めあて」と「まとめ」の整合性